

岡山県感染症週報

2011 年 第 44 週（10 月 31 日～11 月 6 日）

岡山県では『腸管出血性大腸菌感染症注意報』発令中です。

◆2011 年 第 44 週（10/31～11/6）の感染症発生動向（届出数）

■全数把握感染症の発生状況

- 第 41 週 2 類感染症 結核 1 名（60 代 男）
5 類感染症 後天性免疫不全症候群 1 名（20 代 男）
第 42 週 4 類感染症 日本紅斑熱 1 名（80 代 男）
レジオネラ症 1 名（70 代 男）
第 44 週 2 類感染症 結核 1 名（70 代 男）の報告がありました。

■定点把握感染症の発生状況

- 感染性胃腸炎は、美作地域で患者数が大幅に増加しました。
- インフルエンザは、倉敷市で 6 名、備中地域で 1 名の報告がありました。
- RS ウイルス感染症は、前週から半減しましたが、11 月上旬としては患者数が多い状態です。
- 流行性耳下腺炎は、備中地域で依然として感染症発生レベル 2 が継続しています。
- 水痘は、患者数が増加し、前週の 1.4 倍になりました。
- 手足口病は、再び患者数が増加しました。
- マイコプラズマ肺炎は、前週より減少しました。

-
1. **感染性胃腸炎**の定点あたり患者数は、美作地域で大幅に増加しました（定点あたり 6.83 → 9.83 人）。冬はロタウイルスや、ノロウイルスによる感染性胃腸炎が多く発生し、例年 11 月下旬頃より患者の増加が見られます。今後、患者増加が懸念されますので手洗いを励行するなど感染予防に心がけましょう。
 2. **インフルエンザ**は、倉敷市で 6 名、備中地域で 1 名の患者報告がありました（定点あたり 0.08 人）。今週から、『岡山県インフルエンザ情報』をお伝えしています。詳しくはそちらをご覧ください。
全国集計第 43 週速報値（10/24～10/30）によると、全国では定点あたり 0.10 人、第 35 週以降患者増加がづづいています。今シーズン（2011/9/5～）第 43 週現在、全国で検出されたインフルエンザウイルスは AH3 型が 31 件、B 型が 8 件、AH1 pdm09 型が 1 件報告されています。（[国立感染症情報センター インフルエンザウイルス分離・検出速報 2011/2012 シーズン](#)）
 3. **RS ウイルス感染症**の定点あたり患者数は前週から半減しましたが（定点あたり 0.74 → 0.39 人）、11 月上旬としては患者数が多い状態です。
 4. **流行性耳下腺炎**の定点あたり患者数は、前週とほぼ同数で（定点あたり 1.17 → 1.15 人）、備中地域では、依然として感染症発生レベル 2 が継続しています（定点あたり 4.14 人）。中でも備中地域の南西部で多く報告されており、またその隣接する広島県福山市でも患者発生が多いと報告されています。（[広島県ホームページ](#)）
 5. **水痘**の定点あたり患者数は増加し、前週の 1.4 倍になりました（定点あたり 0.54 → 0.76 人）。全国集計でも過去 5 年の同時期と比較してかなり多いと報告されています。水痘はウイルスによる急性感染症で、いわゆる『みずぼうそう』と呼ばれています。患者は 11 月上旬頃から増加する傾向があるといわれており、今後の動向に注意が必要です。
 6. **手足口病**の定点あたり患者数は再び増加し（定点あたり 1.24 → 1.72 人）、11 月上旬としては過去 10 年で最も多くなりました。特に岡山市では患者報告が前週の 2 倍に増えました（定点あたり 1.36 → 3.00 人）。
 7. **マイコプラズマ肺炎**は、前週より減少しました（基幹定点 5 医療機関あたり 3.20 → 1.60 人）。岡山市（3 人）、倉敷市（3 人）、備北地域（2 人）で患者報告がありました。
 8. **腸管出血性大腸菌感染症**は、今年はこれまでに 64 名の発生がありました。11 月は 1 名の発生があり、発生は減少していますが、ひきつづき注意が必要です。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ		★	RSウイルス感染症		★
咽頭結膜熱		★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★
感染性胃腸炎		★★	水痘		★
手足口病		★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★★★★	百日咳		
ヘルパンギーナ		★	流行性耳下腺炎		★★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		★
細菌性髄膜炎		★	無菌性髄膜炎		★★
マイコプラズマ肺炎		★★	クラミジア肺炎		

【記号の説明】

前週からの推移： 2倍以上の減少 1.1～2倍未満の減少 1.1未満の増減

1.1～2倍未満の増加 2倍以上の増加

流行状況： 空白 発生なし ★僅か ★★少し ★★★やや多い ★★★★多い ★★★★★非常に多い

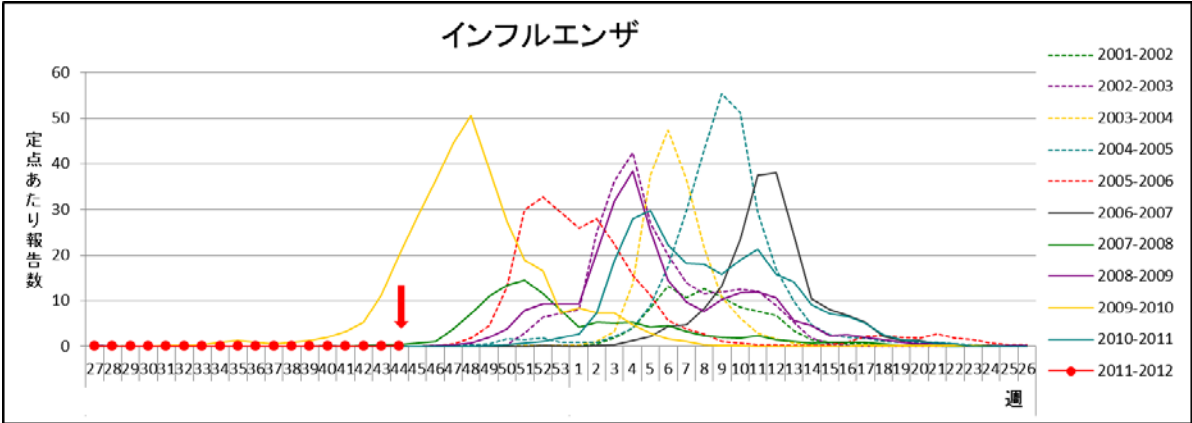
※定点当り患者数について、過去5年間の標準偏差値に感染症の種類毎に係数を乗じた値を5等分し、流行状況の目安として5段階で表示しています。

保健所別報告患者数 において **数字** は感染症マップにおいて レベル3
数字 は感染症マップにおいて レベル2 を示しています。

インフルエンザ情報 第 44 週 2011 年 10 月 31 日 ～ 11 月 6 日

岡山県の流行状況

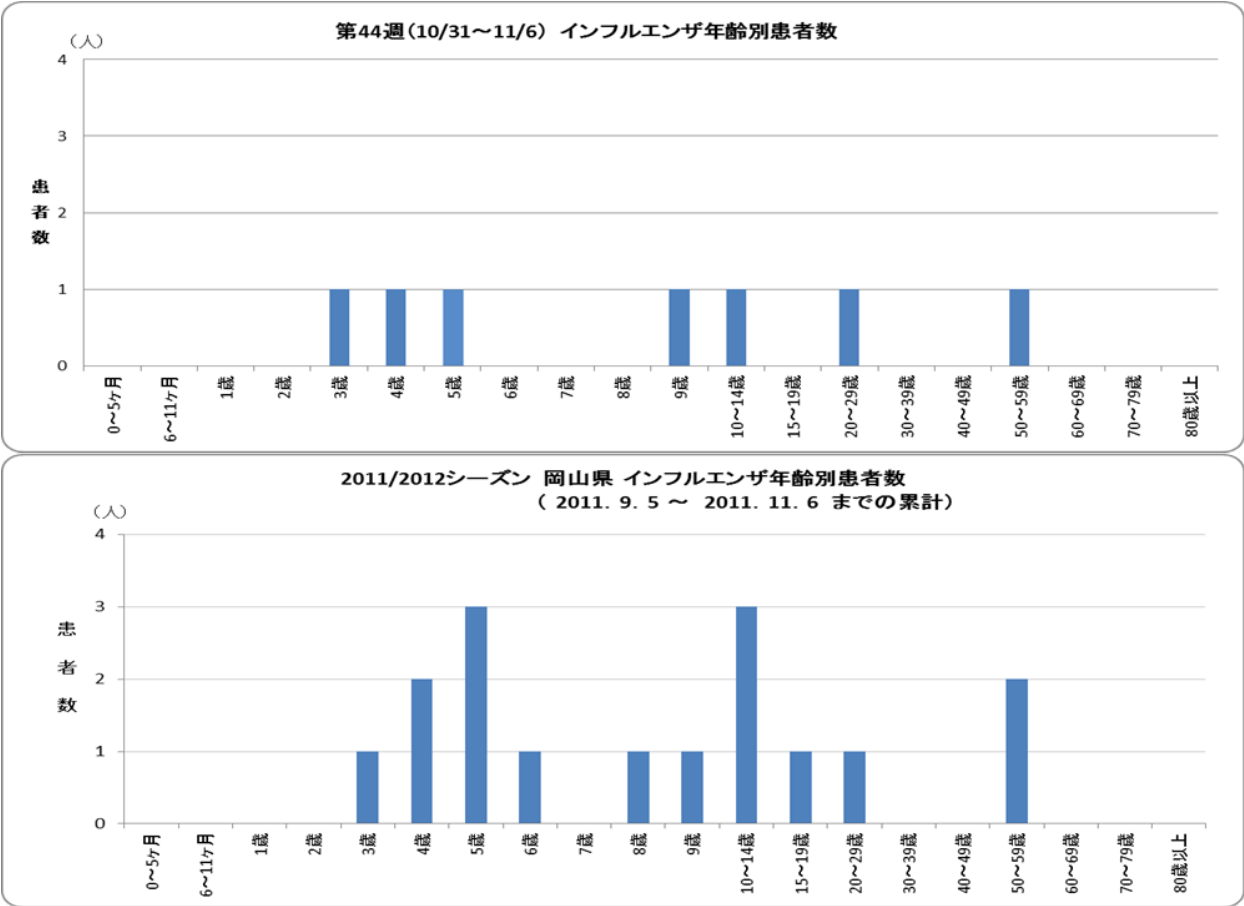
- 岡山県内の患者報告数は 7 名、定点あたり 0.08 人（定点医療機関 84 定点）でした。
- 10 月 31 日、今シーズン岡山県では初めてとなるインフルエンザとみられる学年閉鎖が倉敷市で 1 校ありました。このうちの患者 3 名から、インフルエンザウイルス AH3 型が検出されました。
- インフルエンザの本格的な流行は通常 12 月に入ってからといわれますが、集団事例も発生していますので、手洗い・うがいを励行し感染予防を心がけましょう。



※インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、今年 27 週 ～ 翌年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

インフルエンザは、今週、倉敷市で 6 名、備中地域で 1 名の発生がありました（84 定点医療機関 定点あたり 0.08 人）。県内の発生はまだ散発的です。各年齢で患者発生が見られますが、乳幼児や高齢者の患者はまだ報告がありません。地域別発生状況は、第 44 週までに発生した患者 16 名のうち 13 名が倉敷市から報告されています。

年齢別患者発生状況 第 44 週（10/31～11/6）

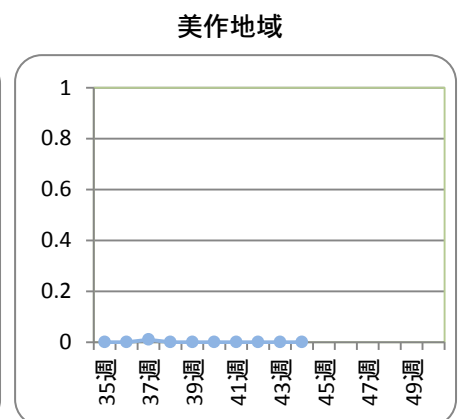
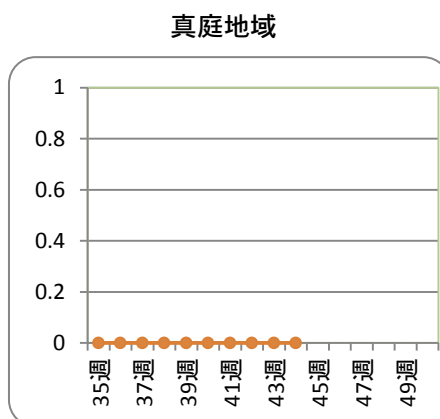
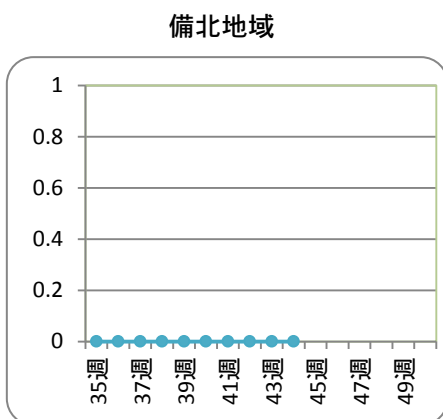
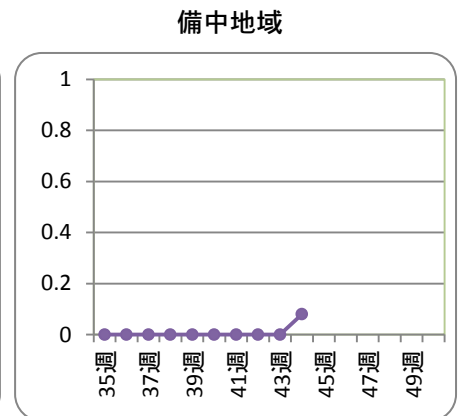
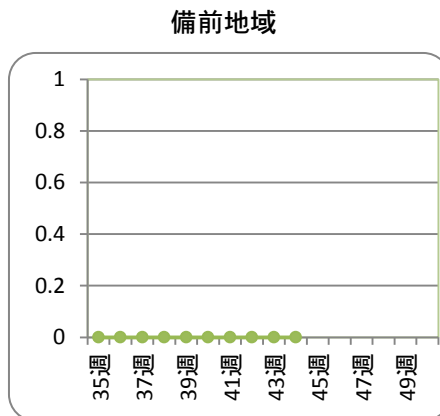
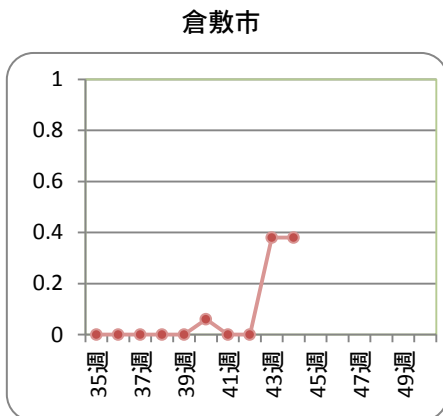
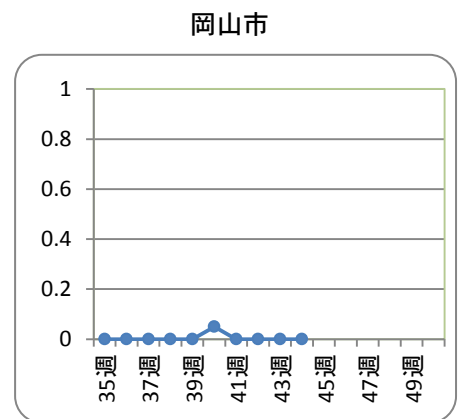
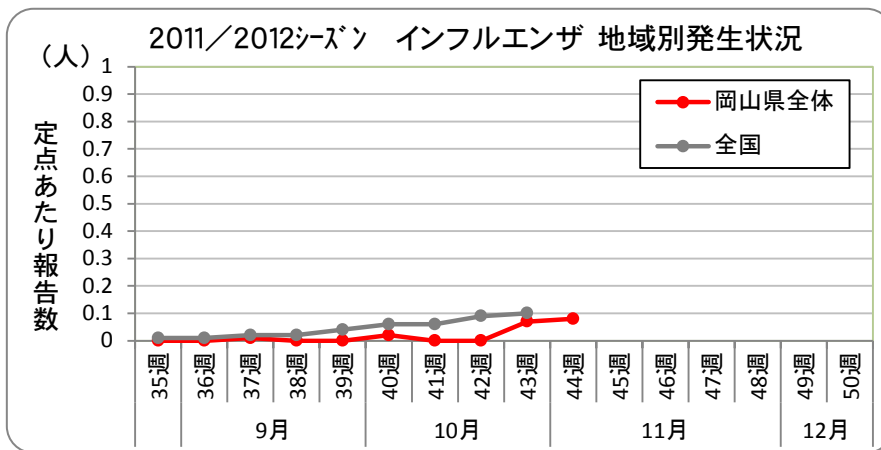


地域別発生状況

第44週(10/31~11/6)の推移(単位:人)

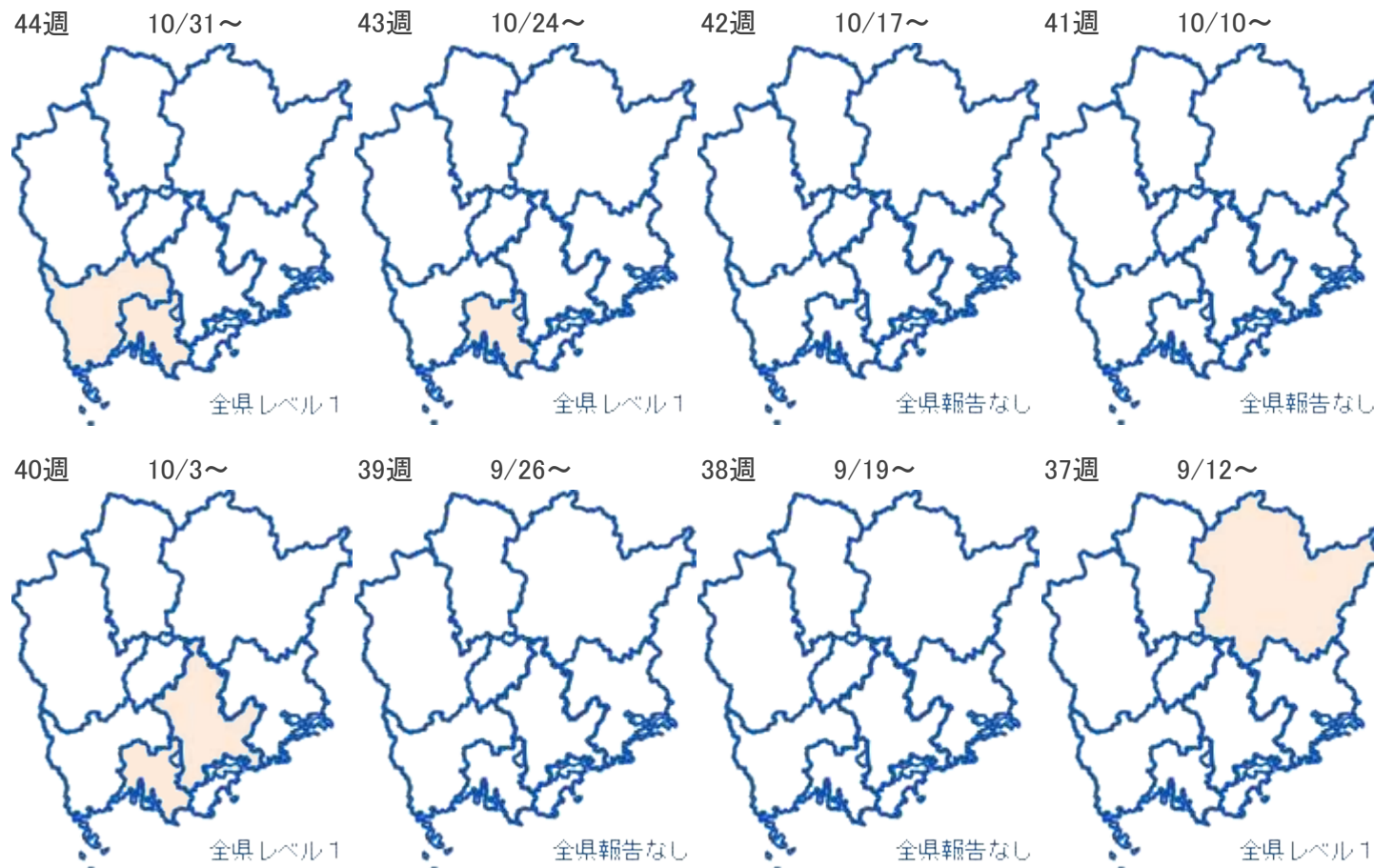
地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	7		備 中	患者数	1	
	定点あたり	0.08			定点あたり	0.08	
岡山市	患者数	0	—	備 北	患者数	0	—
	定点あたり	0.00			定点あたり	0.00	
倉敷市	患者数	6		真 庭	患者数	0	—
	定点あたり	0.38			定点あたり	0.00	
備 前	患者数	0	—	美 作	患者数	0	—
	定点あたり	0.00			定点あたり	0.00	

【記号の説明】 前週からの推移:  2倍以上の減少  1.1~2倍未満の減少  1.1未満の増減
 1.1~2倍未満の増加  2倍以上の増加





インフルエンザ



レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。

第 44 週（10/31～11/6）に検出されたインフルエンザウイルス

* 地域名は、保健所または支所名で表記しています。

ウイルス名	検体採取週	検体採取日	地域＊	年齢	性別	備考
インフルエンザウイルス AH3 型	第 44 週	2011 年 11 月 1 日	倉敷市	小学生	男	集団発生事例
インフルエンザウイルス AH3 型	第 44 週	2011 年 11 月 1 日	倉敷市	小学生	男	集団発生事例
インフルエンザウイルス AH3 型	第 44 週	2011 年 11 月 1 日	倉敷市	小学生	男	集団発生事例

2011/2012 インフルエンザウイルス 週別検出状況

(株)

週	検出株数 (株)	型別
37週	0	
38週	0	
39週	0	
40週	0	
41週	0	
42週	0	
43週	0	
44週	3	AH3 型
45週	0	
46週	0	
47週	0	
48週	0	
49週	0	
50週	0	
51週	0	
52週	0	
1週	0	
2週	0	
3週	0	
4週	0	
5週	0	
6週	0	
7週	0	
8週	0	
9週	0	
10週	0	
11週	0	
12週	0	
13週	0	
14週	0	

10月31日、倉敷市の小学校で学年閉鎖が1校ありました。

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

[illegible]

臨時休業施設数の内訳 第44週(10/31~11/6)

累計：1 施設

	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累積	今週	累計	今週	累積	今週	累積	今週	累積	今週	累積
施設数	－	－	－	－	1	1	－	－	－	－	－	－

入院時の状況と年齢別内訳の累計 第44週（10/31～11/6）まで

第 44 週まで報告はありません。

* 平成 23 年 9 月 5 日以降に入院した各患者の累計数(入院日を登録)

[illegible]

保健所別報告患者数 2011年 44週 (2011/10/31～2011/11/06)

2011年11月9日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	7	0.08	—	—	6	0.38	—	—	1	0.08	—	—	—	—	—	—
RSウイルス感染症	21	0.39	8	0.57	5	0.45	—	—	5	0.71	—	—	—	—	3	0.50
咽頭結膜熱	7	0.13	2	0.14	3	0.27	—	—	2	0.29	—	—	—	—	—	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	35	0.65	14	1.00	10	0.91	—	—	5	0.71	1	0.25	—	—	5	0.83
感染性胃腸炎	244	4.52	50	3.57	48	4.36	47	4.70	25	3.57	12	3.00	3	1.50	59	9.83
水痘	41	0.76	18	1.29	7	0.64	—	—	10	1.43	—	—	—	—	6	1.00
手足口病	93	1.72	42	3.00	14	1.27	11	1.10	8	1.14	3	0.75	—	—	15	2.50
伝染性紅斑	8	0.15	2	0.14	—	—	3	0.30	—	—	—	—	2	1.00	1	0.17
突発性発疹	33	0.61	18	1.29	6	0.55	2	0.20	2	0.29	—	—	2	1.00	3	0.50
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	5	0.09	—	—	1	0.09	2	0.20	1	0.14	—	—	—	—	1	0.17
流行性耳下腺炎	62	1.15	13	0.93	12	1.09	5	0.50	29	4.14	1	0.25	—	—	2	0.33
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	4	0.33	3	0.60	1	0.25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
細菌性髄膜炎	1	0.20	—	—	1	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	1	0.20	—	—	1	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	8	1.60	3	3.00	3	3.00	—	—	—	—	2	2.00	—	—	—	—
クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(— : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2011年 44週 (2011/10/31～2011/11/06)

2011年11月9日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	7	0.08	—	—	6	0.38	—	—	1	0.08	—	—	—	—	—	—
咽頭結膜熱	7	0.13	2	0.14	3	0.27	—	—	2	0.29	—	—	—	—	—	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	35	0.65	14	1.00	10	0.91	—	—	5	0.71	1	0.25	—	—	5	0.83
感染性胃腸炎	244	4.52	50	3.57	48	4.36	47	4.70	25	3.57	12	3.00	3	1.50	59	9.83
水痘	41	0.76	18	1.29	7	0.64	—	—	10	1.43	—	—	—	—	6	1.00
手足口病	93	1.72	42	3.00	14	1.27	11	1.10	8	1.14	3	0.75	—	—	15	2.50
伝染性紅斑	8	0.15	2	0.14	—	—	3	0.30	—	—	—	—	2	1.00	1	0.17
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	5	0.09	—	—	1	0.09	2	0.20	1	0.14	—	—	—	—	1	0.17
流行性耳下腺炎	62	1.15	13	0.93	12	1.09	5	0.50	29	4.14	1	0.25	—	—	2	0.33
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	4	0.33	3	0.60	1	0.25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(— : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2011年 第44週 2011/10/31～2011/11/06)

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	7	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	1	1	-	1	-	-	1	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	21	4	2	11	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	7	-	1	1	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	35	-	1	1	2	5	4	3	6	4	3	3	2	-	1
感染性胃腸炎	244	4	14	32	23	14	21	20	17	11	8	12	25	7	36
水痘	41	-	2	10	9	5	5	5	2	-	1	-	2	-	-
手足口病	93	-	7	32	22	13	9	3	2	1	2	1	1	-	-
伝染性紅斑	8	-	-	2	-	1	-	1	3	-	-	1	-	-	-
突発性発疹	33	-	17	15	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	5	-	-	-	-	-	2	1	1	1	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	62	-	1	3	8	7	14	8	7	4	1	3	3	-	3

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	8	-	2	4	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

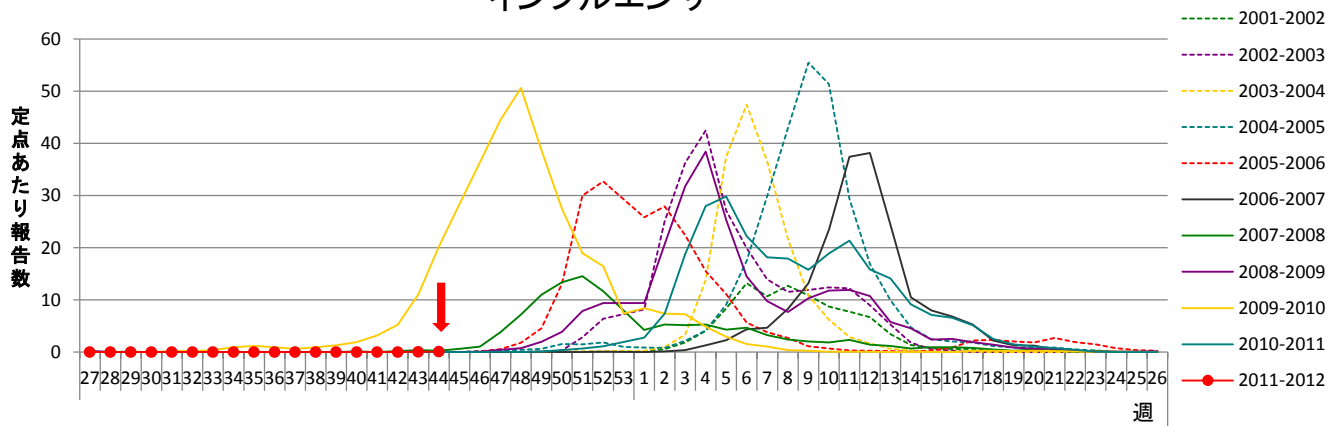
(- : 0)

全数把握 感染症患者発生状況

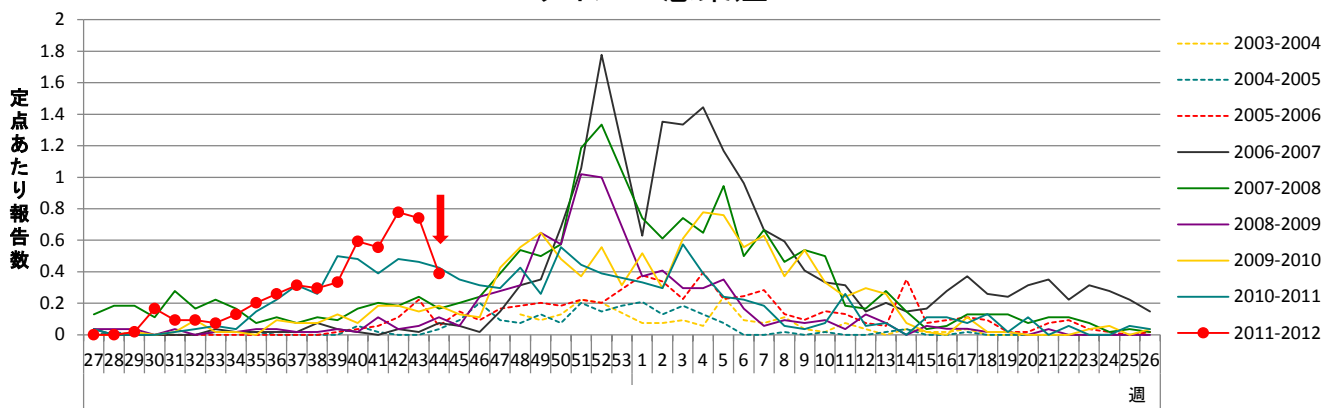
2011 年 44 週

分類	疾病名	2011			2010	2011	2010	2011	2010	2011	2010
		今週	累計	昨年		今週	累計	今週	累計	今週	累計
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱 ペスト	-	-	-	痘そう マールブルグ病	-	-
	南米出血熱	-	-	-		-	-	-		-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核 鳥インフルエンザ(H5N1)	1	407	352	ジフテリア	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-		-	-	-		-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢 パラチフス	-	1	-	腸管出血性大腸菌感染症	-	60
	腸チフス	-	-	-		-	-	-		-	66
四類	E型肝炎	-	1	-	ウエストナイル熱 黄熱 回帰熱 狂犬病 腎症候性出血熱 炭疽 デング熱 ニパウイルス感染症 ハンタウイルス肺症候群 ブルセラ症 発しんチフス 野兎病 リフトバレー熱 レプトスピラ症	-	-	-	A型肝炎 オウム病 キャサヌル森林病 コクシジオイデス症 西部ウマ脳炎 チクングニア熱 東部ウマ脳炎 日本脳炎 Bウイルス病 ベネズエラウマ脳炎 ボツリヌス症 ライム病 類鼻疽 ロッキー山紅斑熱	-	3
	エキノкокクス症	-	-	-		-	-	-		-	-
	オムスク出血熱	-	-	-		-	-	-		-	-
	Q熱	-	-	-		-	-	-		-	-
	サル痘	-	-	-		-	-	-		-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-		-	-	-		-	-
	つつが虫病	-	2	1		-	-	7		-	-
	鳥インフルエンザ	-	-	-		-	-	-		-	-
	日本紅斑熱	-	2	-		-	-	-		-	-
	鼻疽	-	-	-		-	-	-		-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-		-	-	-		-	1
	マラリア	-	-	-		-	-	-		-	-
	リッサウイルス感染症	-	-	-		-	-	-		-	-
	レジオネラ症	-	17	19		-	-	-		-	-
五類	アメーバ赤痢	-	10	13	ウイルス性肝炎*3 クロイツフェルト・ヤコブ病 ジアルジア症 梅毒 バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	7	7	急性脳炎*4 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 髄膜炎菌性髄膜炎 破傷風 風しん	-	3
	クリプトスポリジウム症	-	-	-		-	2	2		-	1
	後天性免疫不全症候群	-	12	22		-	2	5		-	-
	先天性風しん症候群	-	-	-		-	9	9		-	2
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-		-	-	3		-	1
	麻しん	-	4	3		-	-	-		-	2

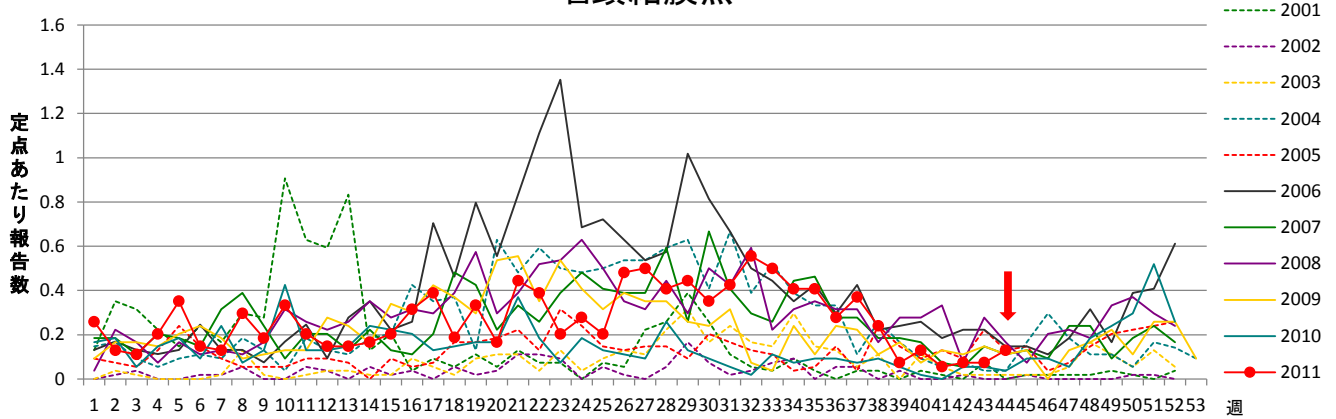
インフルエンザ



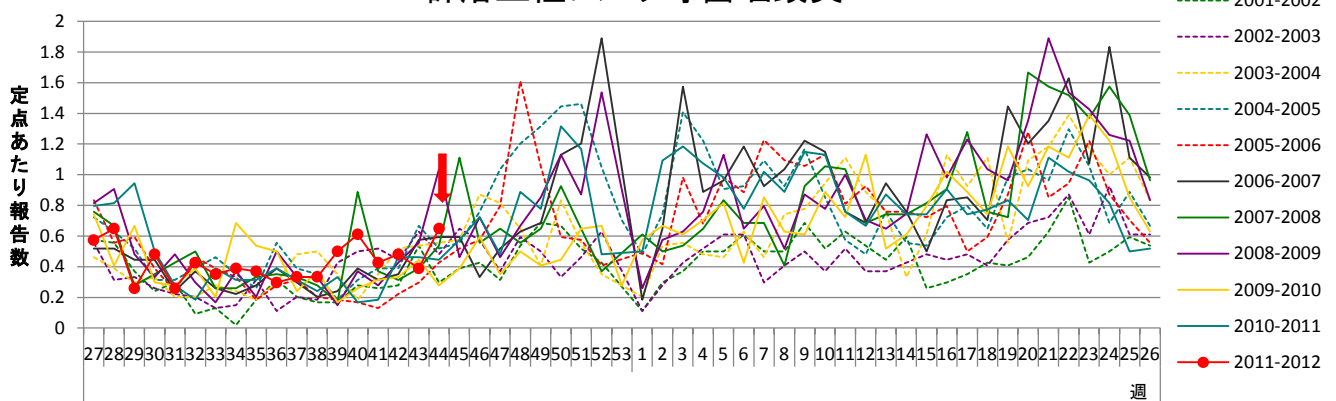
RSウイルス感染症



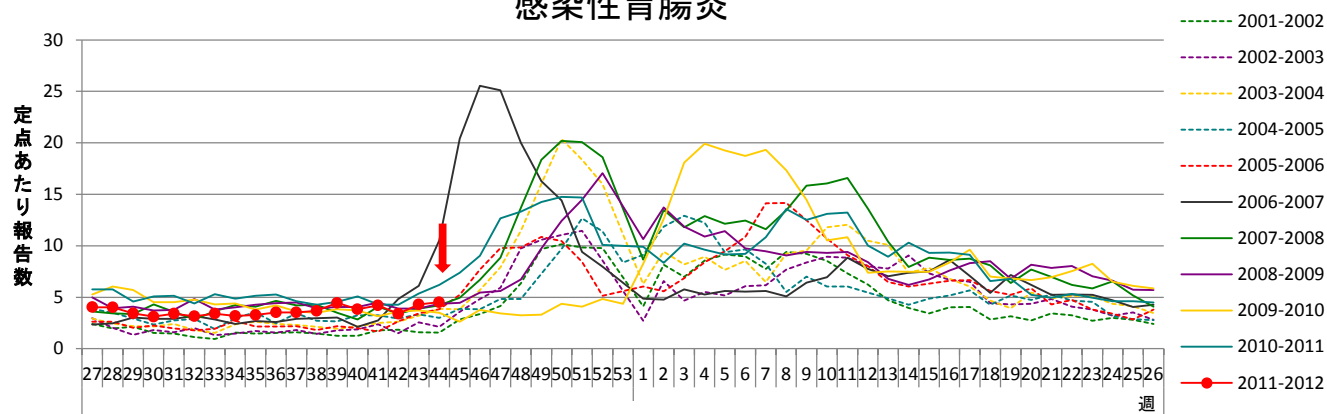
咽頭結膜熱



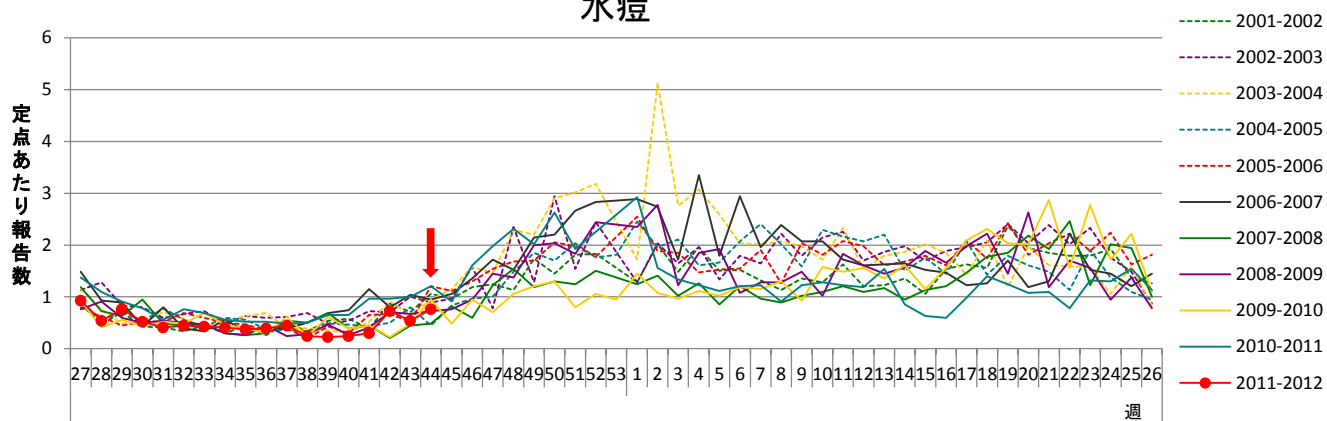
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



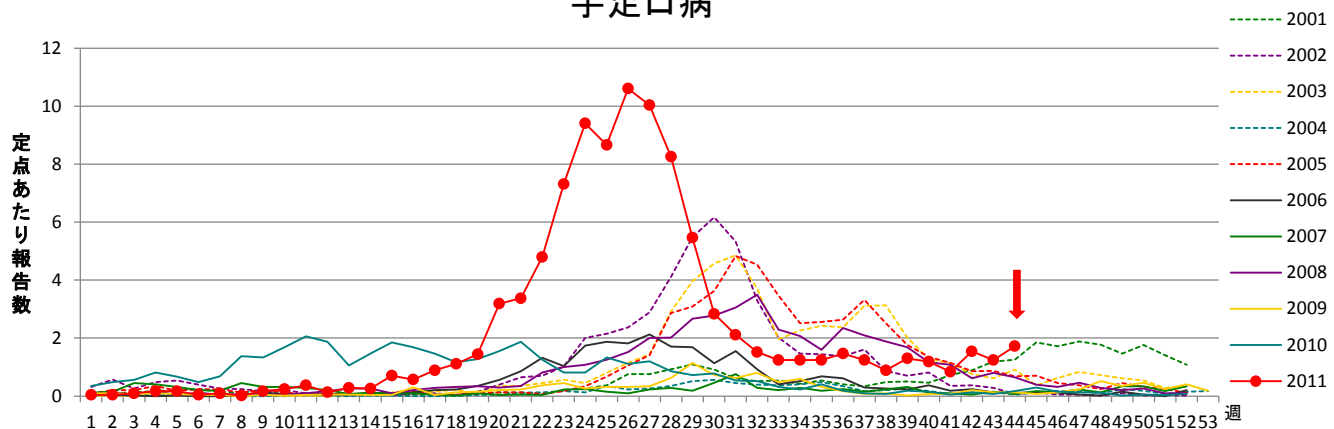
感染性胃腸炎



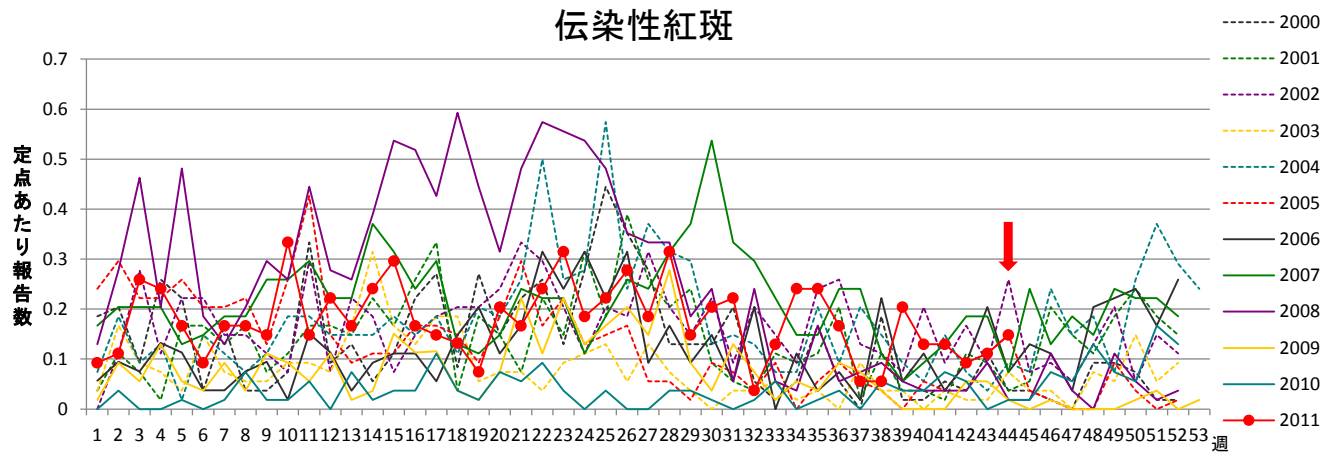
水痘



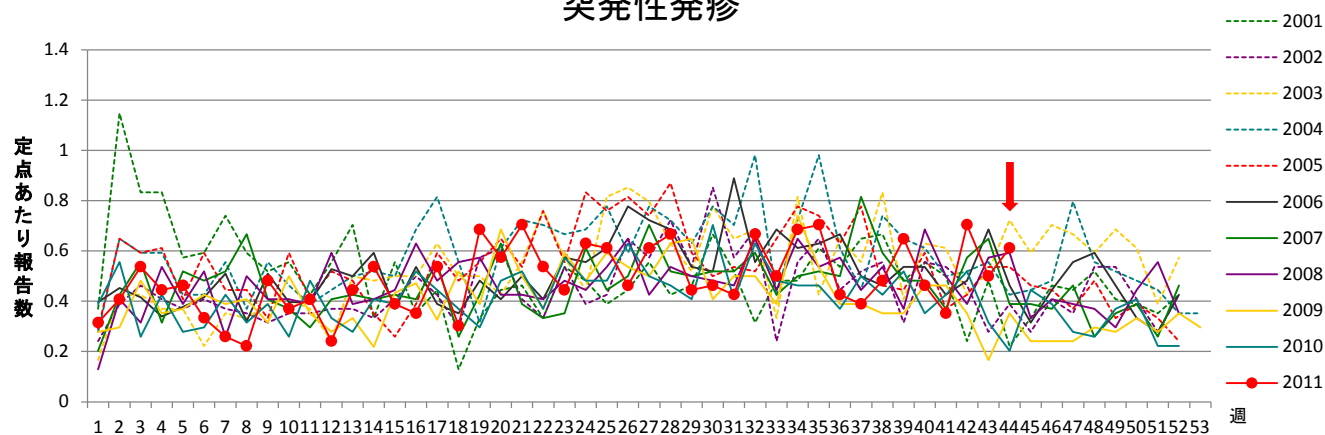
手足口病



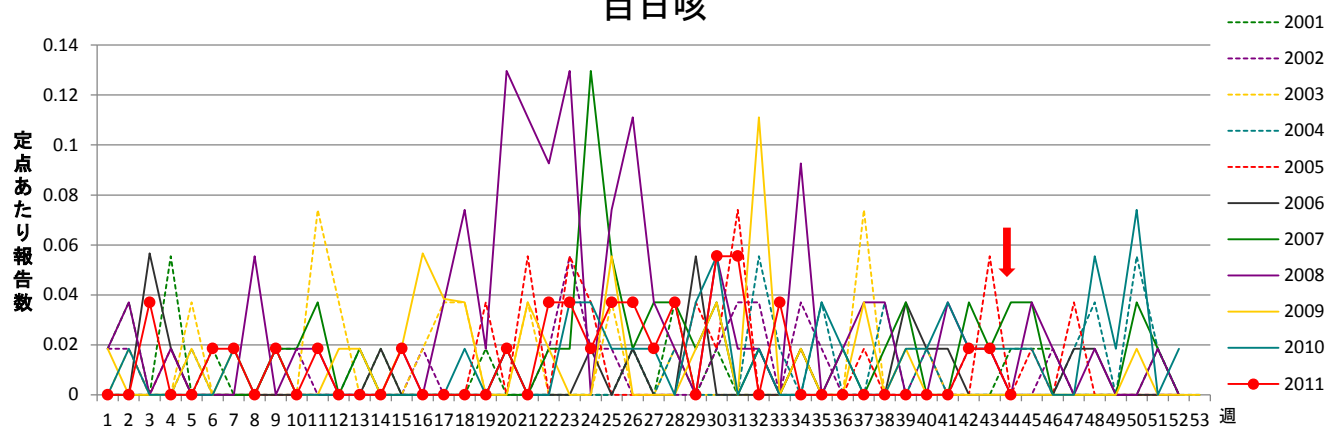
伝染性紅斑



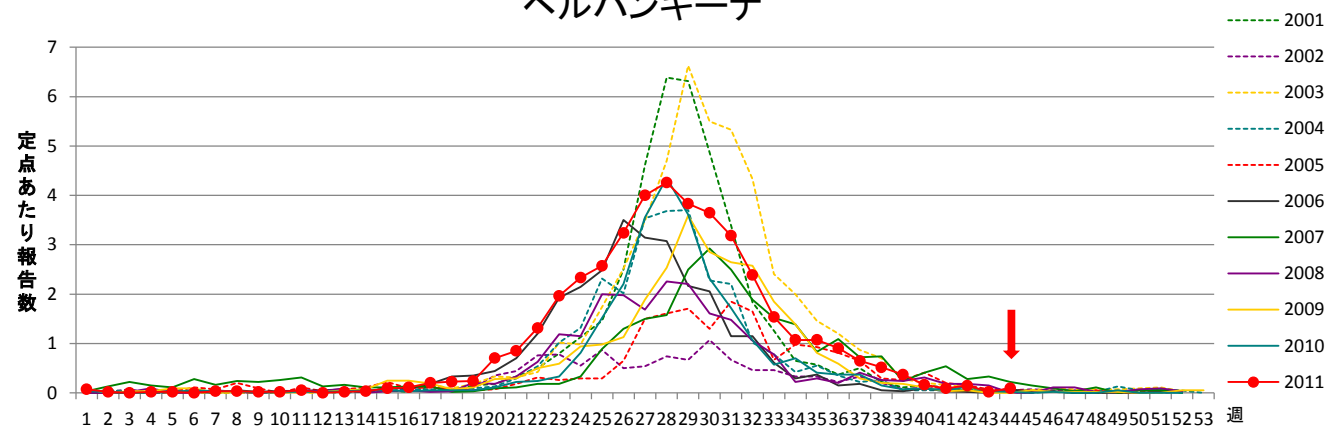
突発性発疹



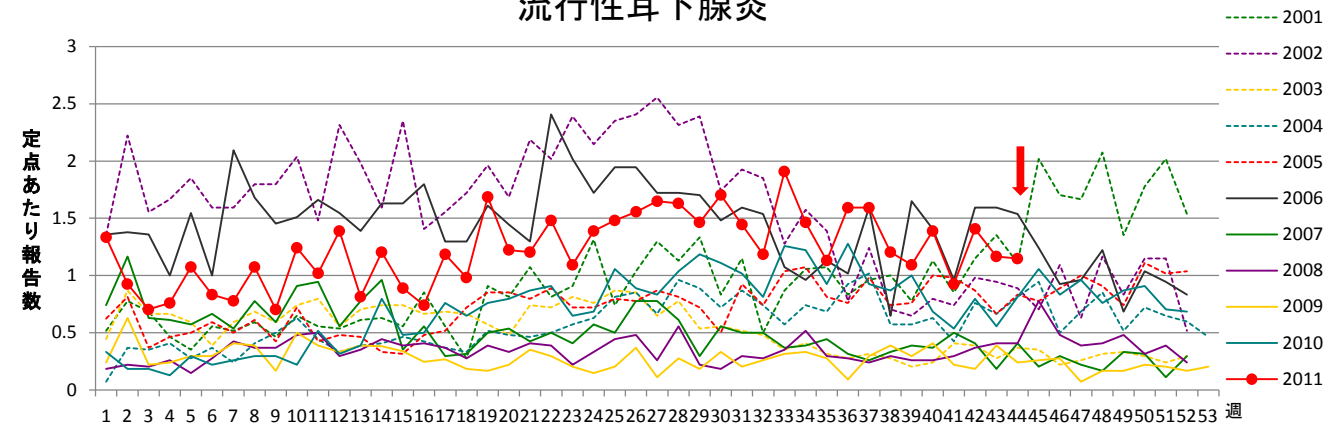
百日咳



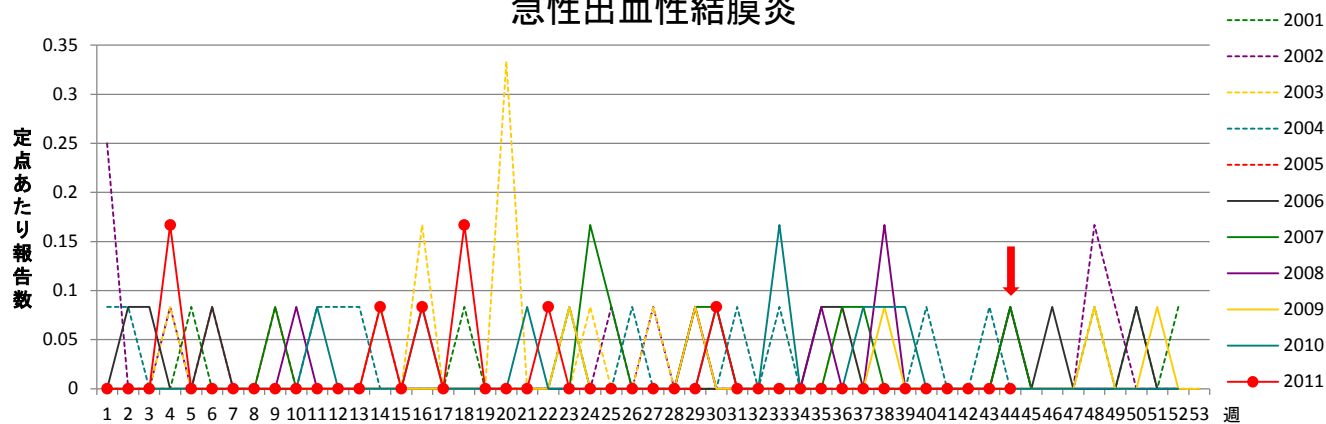
ヘルパンギーナ



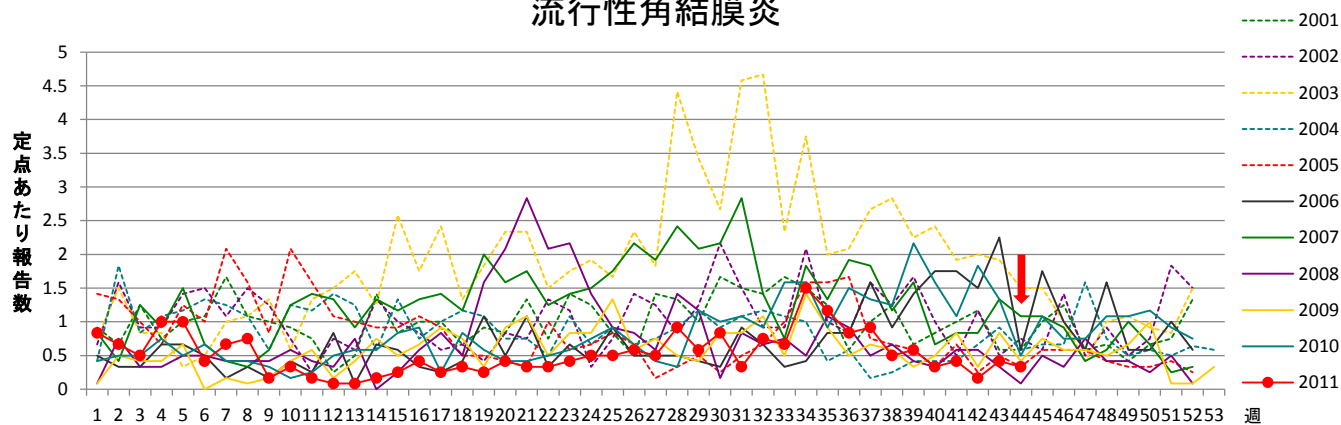
流行性耳下腺炎



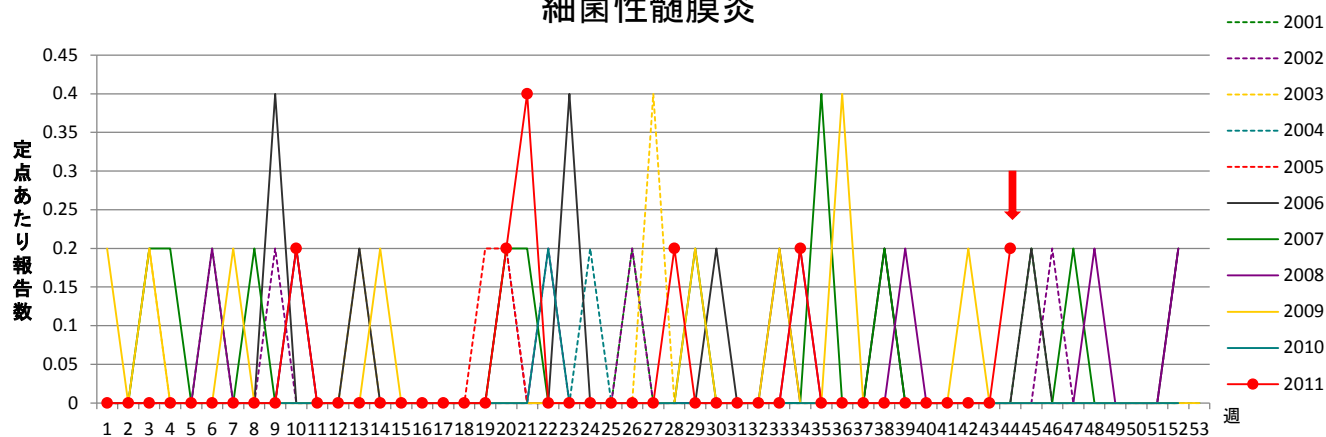
急性出血性結膜炎



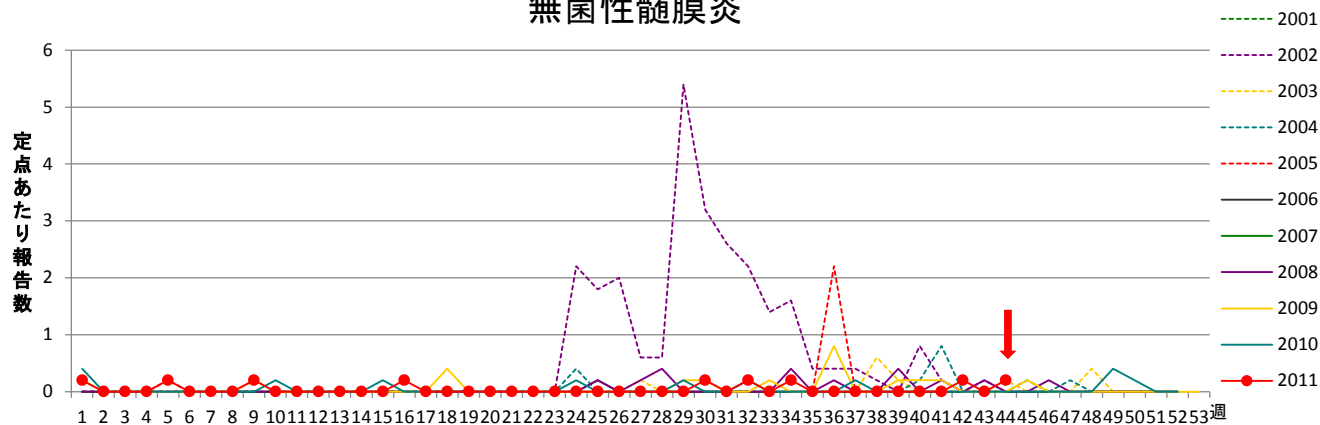
流行性角結膜炎



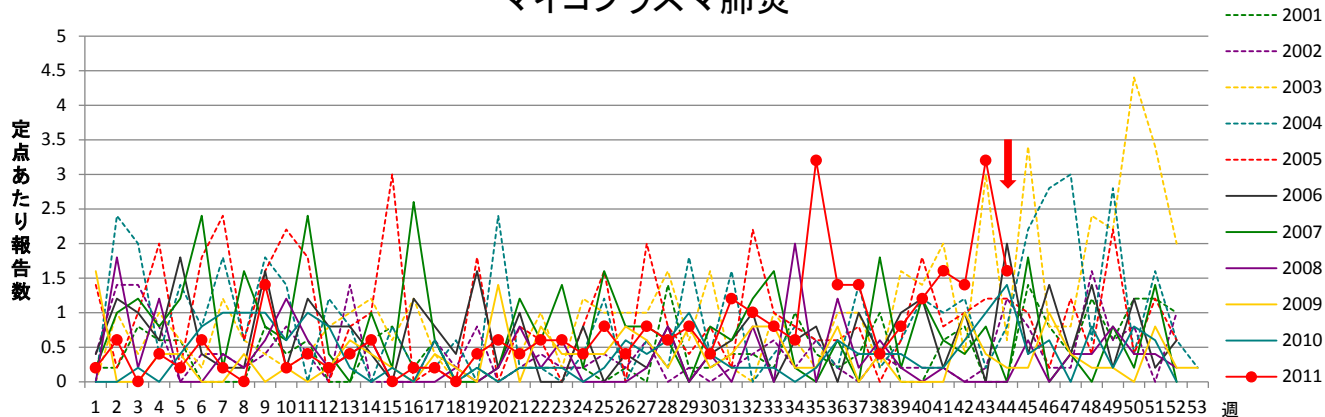
細菌性髄膜炎



無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎

